

誹謗中傷の書き込みについて

インターネット上では、誰でも気軽に自分の意見を書き込むことができるため、問題のある書き込みをしてしまう人も少なくありません。そんな問題のある書き込みのひとつが、他者に対する誹謗中傷の書き込みです。

誹謗中傷の書き込みの例

インターネットに書き込まれる誹謗中傷にはどのようなものがあるのでしょうか。以下で例を紹介したいと思います。

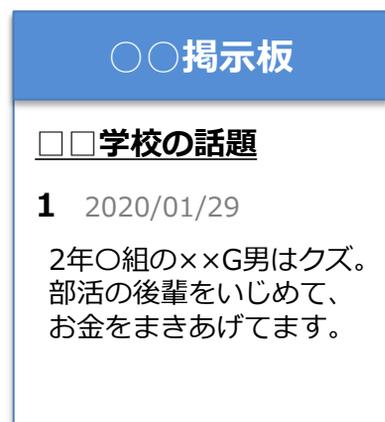
- ・対象の人物を明かさずに中傷しているもの



- ・友だちの写真を掲載し、冗談半分に悪口を書いているもの



- ・嫌がらせを目的に、匿名掲示板に嘘の悪評を書き込んでいるもの



こうした書き込みをすると……

↓

誰に対して言っているかわからないため、書き込みを見た人が「自分のことかも」と思い、人間関係が悪化する可能性がある。

↓

冗談のつもりでも、対象の人物が怒ったり、傷ついたりすることがあり、これはすでに「いじめ」行為となる。
他人の悪口や名誉を傷つけるようなことをすれば、名誉棄損に該当する可能性がある。

↓

書き込みがエスカレートして、いじめなどのトラブルに発展することがある。
このような「誹謗中傷」「個人情報の流布」「デマの投稿」は犯罪にあたる可能性がある。

誹謗中傷の書き込みは、現実世界にも大きな影響を及ぼすものです。
インターネットに書き込むときは、「面と向かって言えないことは書かないこと」「自分の書き込みが、周囲に与える影響を考えてから書くこと」を心がけましょう。